



写真を前回からリニューアル致しました!

谷口まさのり市政レポート

連絡先: 〒359-1151 所沢市若狭 1-2961-1-213 電話: 04 (2941) 5111 / FAX: 04 (2941) 5112

・メール (パソコン): tani.eco@dream.ocn.ne.jp かんたんアクセスは下段の QR バーコードで

・ツイッター: twitter.com/#!/taniguchi1965 ☆ツイッターは頑張って更新しております!!

・ホームページ:『谷口まさのり』で検索ください。 <http://www.taniguchi-mirai.jp/>

～ 平成 27 年3月議会より ～

ついに、市長より『エアコンについて 前向きに検討している』旨の発言が!

(3月26日議会閉会直前の本会議にて)

尚、本レポートは3月26日時点の状況を基に作成しております。本レポート発行時には、エアコン問題に関する今後の方針が市長より発表されていると考えます。

今回の3月議会では H27 年度の新年度当初予算案 (一般会計 927 億円、国民健康保険や介護等の特別会計、上下水道等の事業会計を合わせて総合計で 1,794 億円) が可決されました。

また、私は一般質問において

- ① 小・中学校のエアコン問題 (2/15 の住民投票関連)
- ② 更なる『環境教育』の施策
- ③ 『介護費用』の過誤請求の適正化
- ④ 札幌での『ビル看板の落下事故』を受けた点検管理体制

について取り上げました。(詳細は 3/12 の議会中継録画をご覧ください。)

その中で、3月23日の予算特別委員会において、私、谷口は、先ずは著しい学習環境格差是正のためにうるささ指数 75 を超える狭山ヶ丘中、北中小にはエアコン設置を進めるべきと再度主張致しました!



4 年間の任期が本年 4 月末で終わります。以下に任期中に、私、谷口まさのりが一般質問などで取り上げたテーマ (4 ページ)、議員活動、そして、成果 (2～3 ページ) 等を報告させていただきます。(成果は谷口自らが主体的に動いた内容)

◆ 谷口まさのり経歴・1965 年 (S40) 北海道生まれ、埼玉大学 工学部環境化学工学科卒業・栗田工業 (環境系) や省エネ企業に計 15 年間在籍 (技術営業)・2011 年 4 月 所沢市議選に当選 (現在、維新の党所属)・趣味等: スポーツ (ソフトボールチームに所属、西武ライオンズファンクラブ会員)、カラオケ、大のビール党、トトロのふるさと基金会員・環境カウンセラー (環境省資格) / 認知症サポーター / 社会保険労務士 (年金・雇用分野が専門)・息子とカブト虫とり、最近の日課はメダカのエサやり



谷口まさのり 4年間 2011.5～2015.3 の成果

① 議員定数の実質『3』名削減を実現！

今回4月末の選挙は現在の定数36名から3名減って33名になります。

＊初当選後の2011年6月の議会運営委員会で、谷口自身が『議員定数について議論すべき』と問題提起し、正式議題として取り上げられ、その後、第三者的機関を設置。最終的には、議員定数削減に賛成の立場をとる現職議員の多くの皆さん（27名が賛成）と一緒に実現させていただきました。

これにより諸経費を含め年間で約3,000万円が削減の見通し。



② 市役所内設置の非常用発電設備の設置工事費大幅ダウンを実現！

当初見込み金額、約2億3,000万円を最終的な工事費が1億353万円に。当初見込み金額から、1億2,637万円、55%の削減！

＊『当初見込み金額が世間相場より非常に高い！』ことを議会で発言。その後、結論的には、必ずしも必要ではない部分の仕様をカットし、大幅な金額削減を実現。

議会で厳しく指摘しなければ、一部仕様がカットされず、当初見込みの約2億3,000万円がそのまま計上されたと考えております。



③ 家庭ゴミ収集運搬の民間委託拡大化を実現！～将来は年間4.4億円削減～

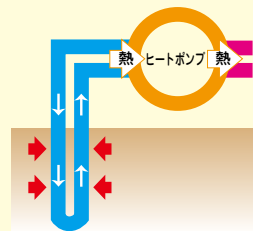
＊2012年6月議会で、大型パネルを使い、民間と直営のコスト比較を含む具体的な数字を示しながら提言。その後、2020年度の委託化率70%を念頭に、2014年度より33%から40%に引き上げが決定。

（年間約9,300万円の経費削減）

今後は段階的であるが、55%（2017年度、年間約2.6億円の経費削減）、70%（2020年度、年間約4.4億円の経費削減）となっていく予定。



④ 新たな自然エネルギーの導入 ～地中熱の導入～



2011年12月議会で、新たな自然エネルギーである『地中熱』の導入を提言。その後、自然エネルギー等の補助金メニューに地中熱が新たに追加され、更に今後立て替えられる富岡保育園に地中熱活用の設備導入が決定。

＊地中熱…地下の空気は地下水と同様に年間を通して温度変化が小さく、その熱を冷・暖房に活用します。

⑤ 市内での雇用を守る政策

～大規模事業所の緑地面積の緩和を提言し、実現！～

2013年6月議会において、市外へ規模の大きな事業所の流出を防ぎ、市内での雇用を守る為、経営と操業の自由度をアップできる事業所内の緑地面積の緩和を提言。そして今回の3月議会で緩和の条例が新しく制定されました。



4年間、『子どもにツケを残さない！』という思いで、全力投球致しました！

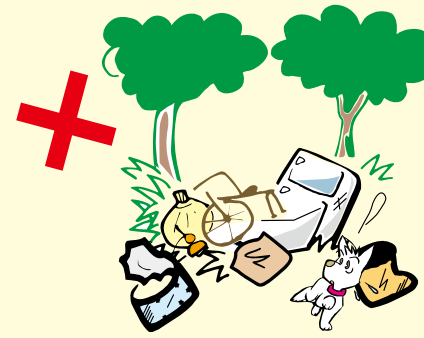
⑥ みどり豊かな狭山丘陵の環境を守る取り組み

～ゴミの不法投棄防止の監視強化～

ゴミが不法投棄されているという、市民の方からの声を受けて、担当部門に提案し実施。

狭山湖周辺ウォーキング道路エリアの不法投棄の監視強化については、2012年3月議会で提言し実施。更に2014年には写真の通り、西部浄水場付近エリアの監視強化を実施。

監視強化したエリアでの不法投棄は大きく減少したという声をいただいております。



【対策強化後】2014年5月31日



対策強化の一例

西部浄水場付近エリア

【強化前】2014年5月中旬



⑦ 交通安全対策

1) 若狭地区内などの消えていた横断歩道の書き直しによる事故防止対策強化

2) 見通しの悪い道路の『注意喚起』の路面標示（小手指操作場（所沢西高校側）の鋭角角地）

3) 和ヶ原商店街の消えかかっていた横断歩道ラインの書き直し

4) その他、椿峰地区での交差点歩道橋周辺の補修、狭山湖駐車場交差エリアの運転者への注意喚起の巻き看板設置など



小手指操作場（所沢西高校側）の鋭角角地の路面標示



和ヶ原商店街の消えかかっていた横断歩道ラインの書き直し

若狭地区内横断歩道ラインの書き直し

【改修前】消えていた状態



【改修後】横断歩道のラインが復活！



⑧ 『認知症サポーター1万人構想』に近づく！

～中学校での『サポーター養成講座』の実施推進～

2012年3月議会にて、『若い世代を含めて、幅広く認知症に対する理解を進めるべき』と提言。その後（2012年4月以降、本年3月11日までの間）、実際に、中学校6校、小学校6校にて養成講座が実施され、左記にて計1,502人（同日に参加の保護者・教員含む）が新たに認知症サポーターとなり、通常の養成講座と合わせて、通算で市内全体で認知症サポーターは総合計で9,508人となりました。（谷口まさのり自身も認知症サポーターです。）

認知症サポーターのリストバンド



他の成果はホームページをご覧ください。http://www.taniguchi-mirai.jp/

一般質問で取り上げたテーマの一部

(2011年6月議会～2015年3月議会)

- ◆狭山ヶ丘中学校の『エアコン設置問題（著しい学習環境格差の是正）』、騒音測定で問題なしと判断した根拠は？市騒音測定は『正確な調査』か？（2012年9月議会、同年12月、2013年3月、2015年3月。尚、2014年12月は防音校舎の関連議案に対し発言）
- ◆子どもの命を守る為に、小・中学校の耐震工事の前倒しをすべき
- ◆乳・幼児の虐待防止対策の推進（妊産婦等への携帯メールを活用したアドバイス情報発信）
- ◆もう一つの『待機児童問題』（学童等の放課後児童対策）は大丈夫か？安心して親が働ける為に
- ◆危険ドラッグ（旧名称、脱法ハーブ）対策（所沢市としてできることはないのか？）
- ◆市業務の今後の大胆な民間委託拡大化によるコスト削減等（国民健康保険など）
（足立区は業務の90%を委託化し、サービス向上と年間8,000万円の経費削減を目標）
- ◆市の借金（市債）の許容レベル、広報に一般会計、特別会計だけではなく、『事業会計』も掲載すべき
➡事業会計の借金も広報「ところざわ」に記載へ
- ◆医療費抑制の為にジェネリック医薬品推進（希望カード）と切り替えた場合の差額通知の提言
➡その後実現へ
- ◆20億円?の『ミニ博物館?』（収蔵庫という名の）構想について
（今の時代、20億円もかけて、本当に必要なのか??）
- ◆自然エネルギーの推進
（太陽光の更なる拡大、地中熱の活用）➡メガソーラー設置
- ◆地球温暖化（気候変動）問題への今後の市の対策等について
（気候変動に対する「緩和策」と「適応策」等）
- ◆価値の高い狭山丘陵の『みどり』の保全を ➡墓地を抑制する条例が制定される。
- ◆実証実験シティー所沢の推進（次世代ビジネス支援、イノベーションを生み出す拠点へ）
- ◆北野グランドの冬季継続使用（霜後の水ハケ対策）によるスポーツ振興（グランドゴルフ、サッカー、野球、ソフトボール等）➡その後、試行的に対策を実施
- ◆生活保護世帯（働ける年代のその他世帯を中心に）のより実効性のある就労支援
- ◆障がい者用グループホーム、ケアホームの推進（親亡き後の地域での生活）
- ◆介護予防対策型カラオケの活用可能性
- ◆自転車事故防止対策について（講習会への参加で、駐輪場の優先利用権、商店街での割引等の特典とリンクした企画・実現を）

